

平成 31 年 3 月 8 日

## 学校自己評価のまとめ

～よりよい学校づくりをめざして～

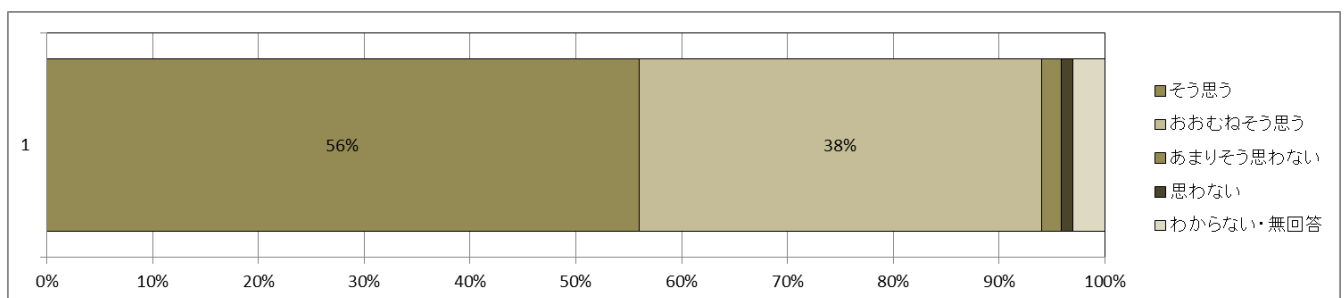
長野県松本養護学校

保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。各部の教育活動についてアンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケート結果がまとまりましたので、以下のとおりご報告いたします。

今後、アンケートの結果を生かして、よりよい学校運営を目指します。

本校の小学部、中学部、高等部、ひまわり部、寄宿舎、信濃学園分室、しなの木・ひだまり教室の保護者の皆様からアンケート用紙 268 枚を回収させていただきました。

### 問1 お子さんは、学習活動に意欲的に取り組んでいると思いますか。

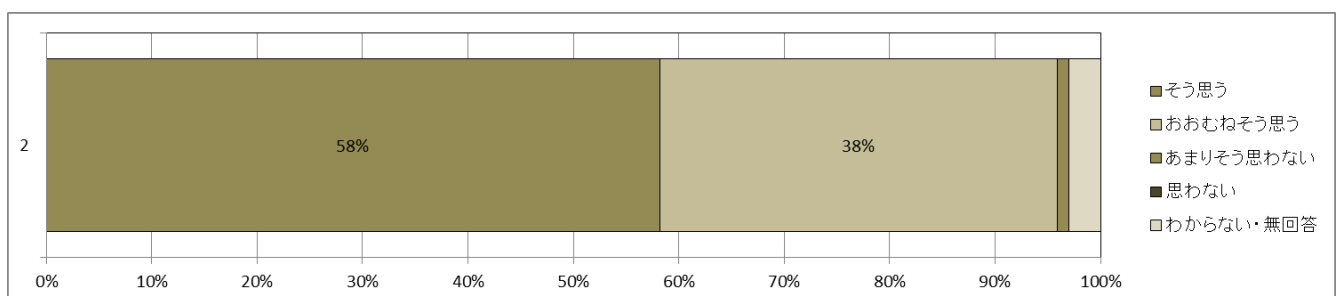


「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、94%の方から児童生徒が学習活動に意欲的に取り組んでいると評価をいただきました。反面「あまりそう思わない」「思わない」とお答えいただいた方が3%、「わからない」とお答えいただいた方が3%いました。

個別の教育支援計画にある本人の願い、保護者の願いをもとに、生活単元学習、作業学習、運動会、松養祭、のびろ祭、水仙祭、音楽学芸会、寄宿舎夏祭りなどにおいて、より生き生きと意欲的に学習に取り組めるよう、場の設定や教材教具の工夫をしてきました。

今後も学習活動により積極的に取り組み、達成感のある学習が積み重ねられるよう考えていきます。

### 問2 職員は、個別の指導計画を生かして日々の授業実践を行っていると思いますか。

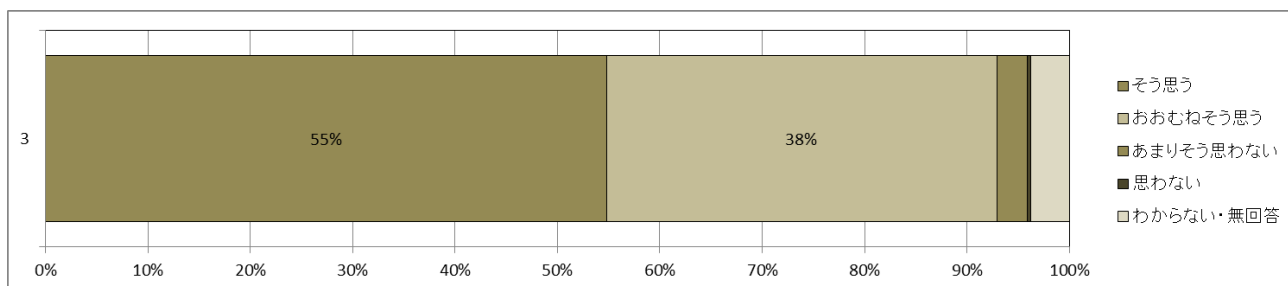


「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、96%の方から個別の指導計画を生かして授業を行っているとお答えいただきました。反面「あまりそう思わない」「思わない」とお答えいただいた方が1%、「わからない」とお答えいただいた方が3%いました。

本校では、個別の指導計画を家庭訪問や懇談会などで保護者の方とともに作り上げ、実践していくとともに、児童生徒の姿を通して支援の内容を振り返り、次につなげていくことを大切に考えています。

今後も個別の指導計画を生かして、より充実した学習を目指していきます。

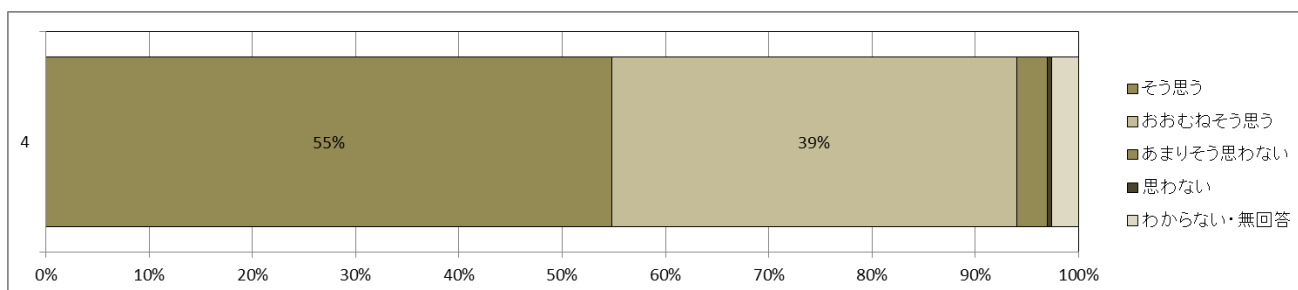
問3 お子さんの願いや保護者の願いを生かした授業実践を行うために、職員の支援はお子さんにわかりやすく適切だと思いますか。



「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、93%の方から児童生徒にとってわかりやすく適切な支援がなされているとお答えいただきました。反面「あまりそう思わない」「思わない」とお答えいただいた方が3%、「わからない」とお答えいただいた方が4%いました。

個別の指導計画に基づいて、日々の学習支援の具体的方法を、学年、クラス、自立活動専任などで相談したり、支援会議で検討したりしながら、今後もよりわかりやすく適切な支援となるよう考えていきます。

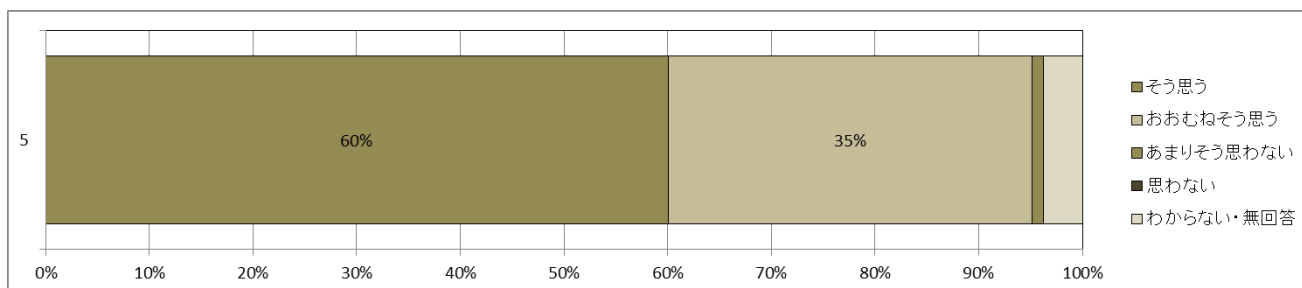
問4 お子さんの健康と安全に留意した学校生活が行われていると思いますか。



「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、94%の方から健康と安全に留意した学校生活が行われているとお答えいただきました。反面「あまりそう思わない」「思わない」とお答えいただいた方が3%、「わからない」とお答えいただいた方が3%いました。

健康面では、日々の健康観察、服薬・アレルギー除去食の複数確認、インフルエンザ予防、健康相談など、養護教諭、管理栄養士と連携して行っています。秋には寄宿舎にAEDが設置されました。安全面では毎月の安全点検を中心に、修繕など日々の迅速な対応を心がけています。今後も日々の確認、また各種研修、訓練などを通して健康と安全に対する意識を高めていくよう努力します。

問5 職員は、一人一人の人権を尊重した、あたたかい支援を行っていると思いますか。



「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、95%の方から、人権を尊重したあたたかい支援を行っているとお答えいただきました。反面「あまりそう思わない」「思わない」とお答えいただいた方が1%、「わからない」とお答えいただいた方が4%いました。

本年度も職員の非違行為防止のための研修を毎月実施したり、人権教育研修会を通して人権に対する意識を高めたりしてきました。

今後も児童生徒の人権を尊重した指導、支援ができるように気を引きしめ、研鑽を重ねていきます。

## 全体にかかわることについてのご質問・ご意見から

### 施設・環境などにかかわって

- ・猛暑で教室も風通しの悪いクラスがあり、暑さで体内の熱がこもって体調が悪くなる子どもが多数いた。体温調節機能がうまく働かない子が多いので、エアコンなど空調設備の見直しを考えていただきたい。
- ・校庭の駐車スペース(南側)プール側道路の整地をしてほしい。道路に穴が多数ある。
- ・トイレの数の少なさ、寄宿舎の古さは改善してほしい。
- ・寄宿舎の部屋の電気のスイッチを別々に点くようにしてもらいたい。
- ・木を使った床はとても良いが、各教室を定期的に確認してメンテナンスをしてほしい。
- ・設備が古く、衛生面で不安がある。耐用年数が気になる。
- ・学校の建物(ガラス・廊下など)の造りが養護学校としての環境が整っていないと思う。万が一パニックの状態となった場合に心配だと感じる。

施設環境に関しては毎年多くの心配の声をいただいているところです。かなり老朽化していることは事実ですが、寄宿舎のトイレ改修が昨年度未完了し、4月より使用できるようになりました。12月には体育館の床張り替え工事も完了しました。今後も日常の中で改善できることは速やかに対応して行く心がけていきます。PTAからも寄宿舎・体育館全面改修、非常階段改修、砂利道・石畳整備、トイレ増設、老朽化した遊具撤去後の再設置などを県へ要望しました。県の施策としては、昨夏の猛暑を受け、特別支援学校教室への迅速なクーラー設置が進められることとなりました。引き続き、施設環境について改善の努力をしていきたいと考えます。

### スクールバスにかかわって

- ・希望者は高等部でもスクールバスが利用できるようにしてほしい。

スクールバスを希望されるご家庭につきましては、条件およびガイドラインに沿って乗車の可否を決めております。中信地区再編整備計画が進む中で、今年度も条件やガイドラインの見直しを行い、少しずつではあります。が要望にお応えできるようになってきました。高等部になり、自力通学を通して成長する姿も大切にしながら、条件・ガイドラインの見直しも適宜行っていきたいと考えます。

### 支援にかかわって

- ・良いところを伸ばしながら、直していきたくところを把握し支援して下さるのでありがたい。
- ・「特別支援教育」は、創造的教育で本当に大変だなと思うが、力を引き出してくれるととても有り難いものだと痛感している。指導される先生の理解や感性で成長がみられることはとても嬉しい。
- ・会議などで様々な考えを教えていただき助かっている。どうすれば子どもが伸びるのか考えるいい機会になっている。
- ・寄宿に入舎し、日々の学校での生活の様子が分かりにくい、クラス担任が連絡帳に詳しく記入してくれるので、本当にありがたい。
- ・寄宿舎でお世話になり、生活全般やコミュニケーションの力がついてきた。ありがたい。
- ・学校や寄宿舎での経験が、子どもにとって大きな力になっている。
- ・スクールバスに乗ってきた先生はもう少し明るく元気にあいさつしてほしい。
- ・懇談時に支援の方向性についてもっと細かく密に話してほしい。
- ・いろいろな面において、親に対して説明不足。

たくさんの温かいお言葉をいただき大変ありがたいと思います。一方あいさつ、保護者の皆様への説明不足・生徒への支援のあり方についてなど、貴重なご意見もいただきました。

あいさつをはじめ保護者の皆様への十分な説明、児童生徒への真摯な対応、支援は職員として最も大切に考えなくてはならない部分です。自覚を持ち日々の支援にあたるように努めます。今後も保護者の皆様から納得いくまで問いかけていただければありがたいと思います。

日常の中で気になる点がありましたら、その都度遠慮なくお知らせください。

## 学校体制などにかかわって

- ・担任が変わり過ぎて落ち着かなく感じた。
- ・分室に教頭がない、養護の先生がないのは改善してほしい。
- ・個別学習の時間が少ないので、増やしてほしい。
- ・中学部になると運動会がなくなり、他学年や他部の子どもたちの様子を見る機会がなくなっているようで心配。  
子どもたちが一生懸命活動する姿を見られる機会を是非なくさないでほしい。
- ・参観日の予定が多すぎて、子どもの様子を見る時間が少なく残念に思う。

継続して支援にあたってほしいという思いを持っていただけることに感謝いたします。職員配置については、学校全体の様々なバランスを考慮して行っており、ご希望に添えないこともあります。少しでもスムーズな引き継ぎとなるよう、年度末には支援の方法、学習してきた内容、留意点などの引き継ぎを学校全体で進めています。年度が変わっても必要なときには旧担任と新任とで連携していくこともしばしばあります。今後も心配な点は、担任、部長、教頭などにお話いただく、支援会議などでご相談いただくなどしていただければと思います。また、分室の職員体制につきましては、安心安全の環境づくりが実現するよう、関係機関に働きかけていくとともに、引き続き担当教頭および養護教諭を中心に、連絡を密に取り合いながら安心安全な環境の構築を進めていきたいと考えます。

個別学習、行事などについては、各部の教育課程に基づいて行われています。学習の内容がより精選、充実したものとなるよう今後もチームで考えることを大切にしていくとともに、懇談会などでも保護者の方とご相談しながら進めていきたいと考えます。参観日の日程に関しては今後も検討を重ねていきますが、学校での様子はいつでもご覧いただけますので、参観日に限らずご来校ください。

## 寄宿舎にかかわって

- ・寄宿舎の部屋は2～3人利用することもあるので、各自のプライバシーが確保できるように工夫してもらいたい。
- ・女子が寄宿舎に入れる人数をもう少し増やして欲しい。男子は多いが、女子は何故少ないのか、不平等だと思う。

着替え、排泄、入浴、私物管理などといった集団生活の中で確保すべきプライバシーについては、できる限りの努力をしています。今後もより一層大切に考えて、生活しやすい環境を整えていきます。一方で寄宿舎は集団生活を通して学び合う場でもあります。他の姿に学ぶべきことを学び損なわないよう、今後も共同の空間を大切にしていきます。

女子の入舎人数については、希望者の男女比が、男子の方が圧倒的に多いのが現状です。よって4グループのうち女子グループは1グループしか編成することができません。ご了解をお願いします。

## 事務にかかわって

- ・引き落とし金額を間違えたり、就学奨励費についても延期になったり、とても不信感が募ります。家庭では手続き期限を守っているのに、学校側としてもきちんと対応していただきたい。
- ・銀行引き落としのミスが多く、驚く。一般企業では、お金のミスは考えられない。
- ・集金などの事務手続きに関して、「諸般の事情」でのミスが多いと思う。

お支払いに関する業務においてご迷惑およびご不便をおかけしました。申し訳ございませんでした。事務処理体制を見直し、内容確認をより複数の職員で行うこと、進捗管理を徹底すること、など事務処理の改善を行って参ります。

紙面の関係ですべてのご意見・ご要望にお応えすることはできませんが、ご不明・ご心配な点につきましては、遠慮なく学校までお問い合わせください。  
なお、各部のアンケート用紙回収数は以下のとおりです。

小学部：59 中学部：61 高等部：77 ひまわり部：14 分室：7  
分教室：24 寄宿舎：26 ご協力ありがとうございました。

長野県松本養護学校  
校長 勝又 和彦  
担当 松田ゆみ子  
Tel 0263-59-2234  
Fax 0263-59-1005